

化学工学会 第 56 回秋季大会
SY-82 [材料・界面部会シンポジウム]

＜材料・界面討論会 ～次世代を拓く材料創製と界面現象の最前線～(ポスター発表部門)＞
報告書

オーガナイザー

石飛 宏和(明治大学)
山内 紀子(茨城大学) (文責)
岡田 洋平(東京農工大学)
山本 大吾(同志社大学)

2025 年 9 月 16～18 日に芝浦工業大学で開催された化学工学会第 56 回秋季大会にて本シンポジウムが開催され、合計 81 件のポスター発表が行われた。詳細は下記の通りである。

日時	9 月 17 日 9:30～12:00 81 件 (うちポスター賞審査対象 74 件を含む)
会場	芝浦工業大学 豊洲キャンパス
聴講者数	200 名程度 (発表者、審査員を含む)
優秀 ポスター賞 (14 件 / 74 件)	※ 52 名の部会審査員に審査していただいた (審査員 4 名/発表 1 件) PA204 神戸大学 桐川 寛太 「EGFP を基盤とした蛍光分子の設計とその機能に関する考察」 PA210 東京都市大学 山元 織佳 「階層性ナノ多孔層ガラス表面で形成される脂質集合体を利用した多並列酵素反応系の構築」 PA221 茨城大学 永井 智也 「高精度なウイルス検出を目的とした糖鎖固定化 P(HEMA-MMA)粒子の開発」 PA232 関西大学 河内 勇飛 「金属有機構造体 CALF-20 の Wash-free 合成の開発」 PA238 同志社大学 福田 大樹 「油相中直流電場下におけるマイクロ空間が球形粒子自転運動のエネルギー変換効率に与える影響」 QA201 茨城大学 渡邊 美月 「ウイルス検出用マーカーへの応用に向けた糖鎖および金ナノ粒子固定化蛍光ポリマー粒子の開発」 QA206 山口大学 吉高 京華 「鼻腔内投与のための噴霧型自発乳化製剤の特性評価」

QA207 明治大学 木村 昭瑛 「機械学習モデルによる統合失調症の新規薬剤候補提案」
QA213 筑波大学 塩見 光平 「サイズ制御された非対称／相分離ジャイアントユニラメラベシクルのマイクロチャネル乳化-遠心界面通過法による作製」
QA220 関西大学 片山 元貴 「CO ₂ 吸着能を有する MOF 粒子のモジュレーターを用いた形態制御」
QA228 神戸大学 稲場 稀也 「二酸化チタンナノ粒子表面での過酸化水素安定化を利用した紙ベースの分析デバイス」
QA229 福岡工業大学 鬼木 健二郎 「メカノケミカル法により調製した金属有機構造体 ZIF-8 の調製とリパーゼとの複合化」
QA231 東京大学 佐野 友南 「InP 量子ドット表面への抗体の精密修飾とバイオイメージングへの応用」
QA235 茨城大学 本村 吉 「生分解性を有する X 線 CT 造影剤の開発を目指したシリカカプセル化金ナノ粒子の合成」



優秀ポスター賞受賞者の記念写真

以上